



あけの

伊勢市立明野小学校
 伊勢市小俣町明野 1939
 校長 伊豆 敏
 電話 24-5171
 FAX 24-5172

学校教育目標 「心身ともに健康で、個性豊かな実践力のある子どもを育てる」

～ 困いさつ 図うじ 図んきょう 3つの「あそべ」をがんばろう ～

◇前期を振り返って ～掃除について～◇

10月6日（金）で前期が終了します。4月の入学式や始業式では、子どもたちに「挨拶をしよう」「掃除をしよう」「勉強しよう」の3つを話しました。この半年間の子どもたちの様子を思い出すと、特に掃除を一生懸命する子どもたちの様子が目に浮かんできます。

掃除をする事の大切さについては、自動車用品販売で有名なイエローハットの創業者である鍵山秀三郎さんがその著書「日々これ掃除」の中で次のように書いていますので紹介します。

『・・・(略)・・・人間は毎日見ているもの、接しているものに似てきます。美しいものを見ていけば自分の気持ちもそうなりますし、汚いもの、乱れたもの、雑なものを見ていけば、必ずそういうふうになってしまいます。だとしたらなるべく美しいものに接して、気持ちもそれに似てもらいたいと思うのです。・・・(略)・・・』

また、鍵山さんが特に大切に思っているのはトイレの掃除です。『トイレがきれいであれば、他の場所も自ずときれいになる』ということも著書の中で述べています。

汚れがとれてすっきり綺麗になった様子を見るのは誰もが気持ちいいものです。その日その日の汚れを落とすだけではなく、掃除を通じて「どうすれば人が喜ぶか」「どうすれば人が気持ちよく過ごせるか」等に思いを馳せることができると、心ももっと磨かれていくのではないのでしょうか。明野小学校の子どもたちには、これまで以上に毎日の掃除に気持ちをこめて頑張ってもらいたいと思っています。

◇外国語の「教科化」にむけて◇

平成29年3月に平成32年度から本格実施する新学習指導要領が告示されました。この新学習指導要領の特徴の一つに外国語の「教科化」があります。現在5, 6年生で行われている「外国語活動」は「教科」ではなく「領域」といわれ、外国語を使ってコミュニケーション力の素地を養うことが目標になっています。新学習指導要領からは「教科」として位置づけられ、名称も「外国語科」となり、教科書を使ったり、他の教科と同じように評価が始まったりします。現在、5, 6年生の「外国語活動」は年間35単位時間（週1コマ）ですが、平成32年度からは年間70単位時間（週2コマ）に増え、現在5, 6年生で行っている「外国語活動」は3, 4年生に移行し年間35単位時間（週1コマ）実施することになります。

そして平成32年度からの本格実施に向けて平成30, 31年度は移行期間になり、下の表のように5, 6年生では年間50単位時間、3, 4年生では年間15単位時間実施することになっています。

	平成29年度 (本年度)	平成30年度 (移行期間)	平成31年度 (移行期間)	平成32年度 (本格実施)
5, 6年生	外国語活動 年間35単位時間 (週1コマ)	外国語活動 年間50単位時間	外国語活動 年間50単位時間	外国語 年間70単位時間 (週2コマ)
3, 4年生		外国語活動 年間15単位時間	外国語活動 年間15単位時間	外国語活動 年間35単位時間 (週1コマ)

明野小学校ではこのような状況を踏まえ、子どもたちの英語力がより向上するよう、平成30年度からの移行期間に対しても先行して、本年度の後期から毎朝10分間のモジュール（短時間）学習を取り入れていきたいと考えています。10分間×5日＝週1単位時間（週1コマ）を確保し、これまでの授業時数に加え、さらに年間35単位時間を確保できる体制にしていきたいと考えています。また、朝の10分間を活用するので7限授業になることもありません。さらに、9月からはALTのジェイソン先生が明野小学校に専属で配置されま

したので、昼休みには4～6年生対象に「英語教室」を開いて英語が苦手な子どもでも気軽に楽しめる活動を企画したり、3、4生だけでなく、1、2年生にも外国語活動の指導に力を入れていきたいと考えています。

◇通知表『あゆみ』の見方について◇

『あゆみ』の評価の見方についてお知らせしますので、学習習慣や生活習慣等について親子で対話をし、後期に向けての励ましをお願いします。

各教科とも、難しい言葉ですが、①関心・意欲・態度、②思考・判断、③技能・表現、④知識・理解の大きく4つの分類（これを観点と言います）で評価され、◎○△の三段階で表されます。

②と④に関しては、テストによる評価が大きいですが、①や②の一定部分は授業での姿勢や発言・考え方、提出物等、③では作品や歌・リコーダー、体育の記録や演技など実技や作図・実験での活動が評価されます。この4つの観点をわかりやすくしたものが「主な評価内容（目標）」です。

学年によって教科の数や同じ教科でも評価内容（目標）が変わってきます。さらに学年が上がると「総合的な学習の時間」や「外国語活動」も加わってきます。

学習のようす(前期) ◎よくできる ○できる △がんばろう

教科	主な評価内容	評価
国語	めあてをもち、楽しく学習する。	
	順序よく話したり、大事なことを落とさずに聞いたりする。	
	したこと・見たこと・聞いたことを、順序よく書く。	
	話を聞いたり、文章を読んだりして、内容がわかる。	
	文字や言葉の使い方がわかる。	
	文字をていねいに正しく書く。	
算数	数・量・図形などを使って楽しく学習する。	
	具体物や式を使って、わかりやすく考える。	
数	正しく計算したり、量を測ったり、図形を作ったりする。	

左は2年生の「学習のようす」で、国語は6つの評価内容（目標）があります。（1年生は7つあります。）

上から「国語に対する関心・意欲・態度」、「聞く力」、「書く力」、「読む力」、「文字や国語のきまり知識理解」、「書写」の目標をあらわしていて、それぞれに◎○△の3段階で評価されます。こういった評価が、各教科でも実施されているわけです。1年生は前期のみ○（できる）△（がんばろう）の二段階評価です。（後期は三段階評価です。）

生活のようす(前期) ○はよくできたもの、△は努力してほしいもの

内容	評価
元気に活動する。	
身の回りの整理整頓をします。	
忘れ物をしない。	
あいさつや言葉づかいを正しくする。	
自分の考えをはっきり言う。	
人の話をしっかり聞く。	
掃除や係の仕事をきちんとやりとげる。	
だれとでも仲よくする。	

左は1・2年生の「生活のようす」で、8項目あります。（3～6年生については10項目あります。）○印が「よくできる」、無印（空欄）は、「できる」、△は「がんばりましょう」という三段階の評価になっています。「生活のようす」の『身の回りの整理整頓』『忘れ物をしない』『あいさつや言葉づかい』『人の話をしっかり聞く』『仕事をきちんとやりとげる』『思いやり』といった点もお家で確認していただき、「後期は○○をがんばろうね!!」などと励ましていただければと思います。

通知表『あゆみ』をもらったら、単に良かった、悪かっただけでなく、自分なりにこれからどんな所を頑張つて後期につなげていけばよいのか学習面や生活面をきちんと振り返ってほしいと思います。

◇ヘルプとサポートの違い ～自立に向けて～◇

お腹を空かせている人がいたら、あなたはどうしますか？魚を釣ってあげますか、魚の釣り方を教えてあげますか。これはヘルプとサポートの違いを表した話です。

ヘルプは相手を助けてあげることで、相手のために色々な事をやってあげます。ところがこの「相手のため」という言葉の中に落とし穴があって、結果として相手に力がつかないことで「相手のため」になっていないことがあります。「相手ができないからやってあげる」というのがヘルプの基準です。一方、サポートは相手が自分の力でできるから「自分で物事をやり遂げることができるよう支える」ことです。しかしサポートする側はやってあげた方がよほど早く、うまくいくような時であってもできるまで待つというのは我慢が必要です。

子どもの周りにいる大人の役割は、子どもをサポートし、自分で様々な問題を解決できる力が身につくように支え、見守り、自立させることです。お家でも子育ての中で、子どもに対してやってあげていることがヘルプなのかサポートなのかを一度振り返ってみてはいかがでしょうか？